

# 2022年卒業時アンケート 報告書

南山大学



## 回答者の基本属性

アンケート回答数は875名

学部別回答数は、人文学部97名、外国語学部180名、経済学部122名、経営学部95名、  
法学部68名、総合政策学部95名、理工学部172名、国際教養学部46名

男女別回答数は、男性366名、女性502名

志望度別回答数は、第1志望616名、第2志望以下・計259名

### ■性別（全体／単一回答）、志望順位（全体／単一回答）

Q1：性別をお答えください

Q4：本学に入学を検討していた頃、現在所属している学部・学科・コースは第何志望でしたか。

(%)

		調査数	男性	女性	無回答	第1志望	第2志望以下・計	無回答	
【2016年】全体		824	35.2	64.8	—	60.7	39.3	—	
【2017年】全体		1,563	41.8	57.9	0.3	59.2	40.5	0.3	
【2018年】全体		1,516	42.9	57.1	—	60.0	40.0	—	
【2019年】全体		1,592	41.4	58.1	0.5	62.0	37.8	0.2	
【2020年】全体		1,621	42.3	57.1	0.6	61.4	38.2	0.4	
【2021年】全体		843	30.5	67.5	2.0	69.8	30.2	—	
【2022年】全体		875	41.8	57.4	0.8	70.4	29.6	—	
学部、学科 コース別	人文学部・キリスト教学科	4	—	100.0	—	50.0	50.0	—	
	人文学部・人類文化学科	27	22.2	74.1	3.7	81.5	18.5	—	
	人文学部・心理人間学科	26	34.6	65.4	—	88.5	11.5	—	
	人文学部・日本文化学科	40	17.5	80.0	2.5	70.0	30.0	—	
	外国語学部・英米学科	64	15.6	84.4	—	84.4	15.6	—	
	外国語学部・スペイン・ラテンアメリカ学科	37	21.6	78.4	—	56.8	43.2	—	
	外国語学部・フランス学科	23	4.3	95.7	—	52.2	47.8	—	
	外国語学部・ドイツ学科	24	12.5	87.5	—	54.2	45.8	—	
	外国語学部・アジア学科	32	6.3	93.8	—	71.9	28.1	—	
	経済学部・経済学科	122	54.9	44.3	0.8	69.7	30.3	—	
	経営学部・経営学科	95	33.7	64.2	2.1	67.4	32.6	—	
	法学部・法律学科	68	48.5	51.5	—	70.6	29.4	—	
	総合政策学部・総合政策学科	95	38.9	61.1	—	67.4	32.6	—	
	理工学部・システム数理学科	45	75.6	24.4	—	68.9	31.1	—	
	理工学部・ソフトウェア工学科	73	83.6	13.7	2.7	68.5	31.5	—	
	理工学部・機械電子制御工学科	54	87.0	13.0	—	74.1	25.9	—	
	情報理工学部（2013年以前入学者）	0	—	—	—	—	—	—	
	国際教養学部・国際教養学科	46	19.6	80.4	—	78.3	21.7	—	
	性別	男性	366				66.1	33.9	—
		女性	502				73.7	26.3	—
志望順位別	第1志望	616	39.3	60.1	0.6				
	第2志望以下・計	259	47.9	51.0	1.2				

+10 : 【2022年】全体より10ポイント以上高い数値  
+5 : 【2022年】全体より5ポイント以上高い数値  
-5 : 【2022年】全体より5ポイント以上低い数値  
-10 : 【2022年】全体より10ポイント以上低い数値

# 第1章

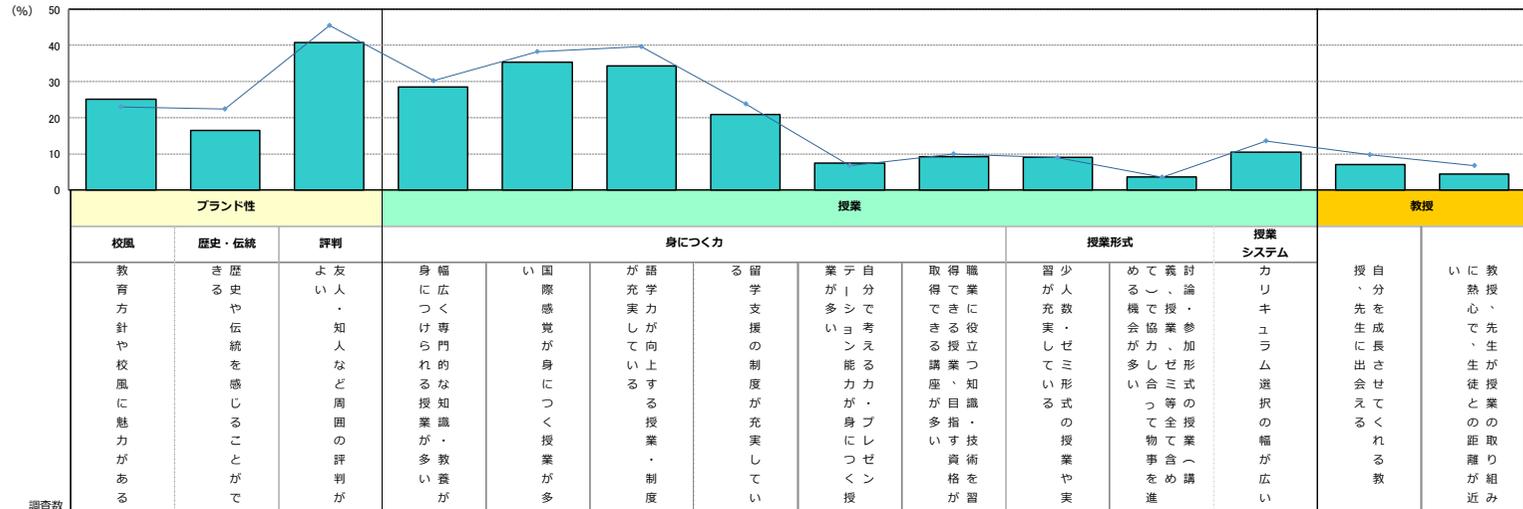
## 入学前の期待

# 第1章：入学前の期待 「Q.あなたは、本学にどのようなことを期待していましたか。(1/2)」

「ブランド性」の入学前の期待は昨年と同様、1位「評判」（友人・知人など周囲の評判が良い）、2位「校風」（教育方針や校風に魅力がある）、3位「歴史・伝統」（歴史や伝統を感じることができる）の順だが、1位と3位は数値が昨年より低下した。入学前の期待「授業」、「教授」では、1位「身につく力」（国際感覚が身につく授業が多い）、2位「身につく力」（語学力が向上する授業・制度が充実している）が昨年同様に上位だが、いずれも数値が昨年よりも低下している。「授業」に対する期待は概して女性が高い。「教授」に対しては、例年通り、入学前の期待は高くないが、卒業時の評価（満足度）では数値が高い。

## ■入学前の期待（全体／複数回答）

Q5. あなたは本学にどのようなことを期待していましたか。あてはまるものをすべてお選びください。（複数選択可）



調査数		2021年	2022年												
[2021年] 全体		843	22.9	22.4	45.6	30.2	38.3	39.7	23.8	6.8	10.0	8.9	3.6	13.5	9.6
[2022年] 全体		875	25.1	16.5	40.8	28.5	35.3	34.3	20.9	7.3	9.3	6.0	3.5	10.4	7.0
学部・学科	人文学部・キリスト教学科	4	50.0	50.0	25.0	25.0	50.0	25.0	50.0	—	—	25.0	—	—	—
コース別	人文学部・人間文化学科	27	22.2	18.5	40.7	48.1	44.4	37.0	22.2	7.4	11.1	7.4	—	18.5	14.8
	人文学部・心理人間学科	26	30.8	23.1	42.3	34.6	26.9	19.2	7.7	3.8	3.8	23.1	15.4	3.8	15.4
	人文学部・日本文化学科	40	32.5	22.5	52.5	35.0	27.5	22.5	12.5	—	7.5	—	2.5	15.0	5.0
	外国語学部・英米学科	64	31.3	15.6	25.0	17.2	73.4	75.0	43.8	14.1	15.6	9.4	7.8	10.9	10.9
	外国語学部・スペイン・ラテンアメリカ学科	37	24.3	16.2	32.4	29.7	81.1	83.8	56.8	18.9	5.4	16.2	5.4	5.4	5.4
	外国語学部・フランス学科	23	13.0	4.3	39.1	17.4	82.6	82.6	60.9	—	4.3	13.0	—	17.4	4.3
	外国語学部・ドイツ学科	24	12.5	8.3	37.5	41.7	75.0	75.0	50.0	4.2	12.5	4.2	—	—	8.3
	外国語学部・アジア学科	32	15.6	12.5	43.8	18.8	62.5	62.5	37.5	—	3.1	9.4	—	3.1	6.3
	経済学部・経済学科	122	31.1	14.8	38.5	18.0	26.2	20.5	11.5	3.3	3.3	11.5	2.5	8.2	4.1
	経営学部・経営学科	95	28.4	26.3	51.6	26.3	20.0	29.5	17.9	6.3	12.6	11.6	1.1	10.5	7.4
	法学部・法律学科	68	25.0	19.1	52.9	17.6	13.2	10.3	10.3	2.9	13.2	17.6	5.9	5.9	8.8
	総合政策学部・総合政策学科	95	28.4	18.9	49.5	36.8	30.5	26.3	23.2	8.4	3.2	7.4	3.2	16.8	7.4
	理工学部・システム数理学科	45	22.2	11.1	33.3	33.3	—	8.9	—	—	22.2	2.2	—	8.9	2.2
	理工学部・ソフトウェア工学科	73	20.5	11.0	28.8	35.6	—	5.5	13.7	1.4	2.7	17.8	—	13.7	5.5
	理工学部・機械電子制御工学科	54	13.0	18.5	53.7	31.5	20.4	14.8	1.9	9.3	11.1	3.7	1.9	9.3	5.6
	情報理工学部（2013年以前入学者）	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	国際教養学部・国際教養学科	46	21.7	4.3	19.6	39.1	84.8	69.6	41.3	37.0	—	8.7	15.2	13.0	10.9
性別	男性	366	22.7	15.8	42.3	26.8	21.3	21.3	9.0	5.2	10.4	5.5	2.2	9.8	6.3
	女性	502	27.1	16.9	39.6	29.5	45.8	44.0	29.7	9.0	8.2	11.8	4.6	11.0	7.6
志望順位別	第1志望	616	28.7	16.9	42.4	30.8	36.7	34.4	20.6	9.1	9.6	11.5	3.9	12.7	8.9
	第2志望以下・計	259	16.6	15.4	37.1	22.8	32.0	34.0	21.6	3.1	8.5	3.1	2.7	5.0	2.3

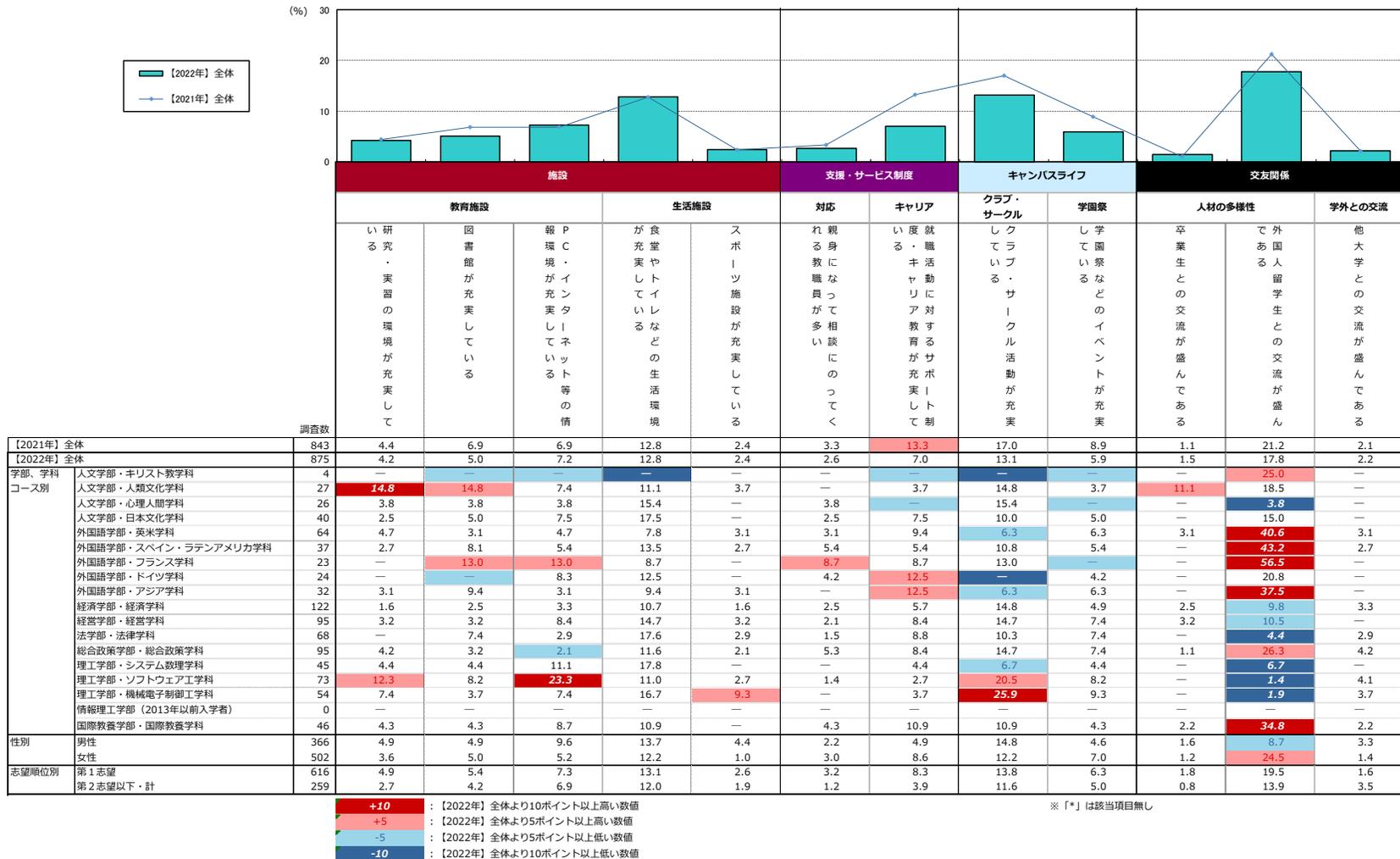
+10 : [2022年] 全体より10ポイント以上高い数値  
 +5 : [2022年] 全体より5ポイント以上高い数値  
 -5 : [2022年] 全体より5ポイント以上低い数値  
 -10 : [2022年] 全体より10ポイント以上低い数値

# 第1章：入学前の期待 「Q.あなたは、本学にどのようなことを期待していましたか。(2/2)」

入学前の期待「施設」、「支援・サービス制度」、「キャンパスライフ」、「交友関係」では、昨年と同様、1位「人材の多様性」（外国人留学生との交流が盛んである）、2位「クラブ・サークル」（クラブ・サークル活動が充実している）だが、いずれも数値が昨年よりも低下している。外国語学部、国際教養学部では「外国人留学生との交流が盛んである」への期待が他学部よりも高く、学部特性が表れている。「キャリア」（就職活動に対するサポート制度・キャリア教育が充実している）、の数値は昨年からはほぼ半減しており、理工学部は他学部と比較して数値が低い傾向にある。

## ■入学前の期待（全体／複数回答）

Q5. あなたは本学にどのようなことを期待していましたか。あてはまるものをすべてお選びください。（複数選択可）



## 第2章 在学中の成長

## 第2章：在学中の成長 「Q.本学に入学し、どの程度成長したという実感がありますか。」

在学中の成長については、「成長としたと思う・計」全体の加重平均が4.28と昨年の4.23より上昇しており、3年連続の上昇である。また、「とても成長したと思う」と回答した全体の比率も昨年を上回り、女性、第1志望者の数値が高い。

### ■成長度（全体/単一回答）

Q13. 本学に入学してから、あなたはどの程度成長したという実感がありますか。（ひとつを選択）

		(n=)	成長したと思う・計		どちらとも いえない (3点)	成長していない・計		無回答	成長したと 思う・計	成長してい ない・計	加重 平均値 (点)	
			とても 成長した と思う (5点)	ある程度 成長した と思う (4点)		あまり 成長して いない (2点)	まったく 成長して いない (1点)					
●凡例												
	【2016年】全体	(n= 824)	23.8		53.5	5.3	17.0	7.1	4.9	77.3	2.4	4.15
	【2017年】全体	(n=1,563)	25.7		63.3	5.3	3.1	0.8	1.9	88.9	3.9	4.12
	【2018年】全体	(n=1,516)	24.4		63.2	7.0	2.6	0.9	1.9	87.6	3.5	4.10
	【2019年】全体	(n=1,592)	23.5		63.6	6.8	3.4	1.3	1.4	87.1	4.7	4.06
	【2020年】全体	(n=1,621)	24.1		63.9	6.5	3.0	1.1	1.4	88.0	4.1	4.08
	【2021年】全体	(n= 843)	38.1		51.6	6.9	2.0	0.8	—	89.7	3.4	4.23
	【2022年】全体	(n= 875)	39.1		52.7	5.6	2.5	—	—	91.8	2.6	4.28
学部、学科 コース別	人文学部・キリスト教学科	(n= 4)	25.0		75.0	—	—	—	—	100.0	—	4.25
	人文学部・人類文化学科	(n= 27)	37.0		59.3	3.7	—	—	—	96.3	—	4.33
	人文学部・心理人間学科	(n= 26)	61.5		38.5	—	—	—	—	100.0	—	4.62
	人文学部・日本文化学科	(n= 40)	42.5		55.0	2.5	—	—	—	97.5	—	4.40
	外国語学部・英米学科	(n= 64)	43.8		53.1	1.6	1.6	—	—	96.9	1.6	4.39
	外国語学部・スペイン・ラテンアメリカ学科	(n= 37)	45.9		48.6	5.4	—	—	—	94.6	—	4.41
	外国語学部・フランス学科	(n= 23)	34.8		65.2	—	—	—	—	100.0	—	4.35
	外国語学部・ドイツ学科	(n= 24)	66.7		33.3	—	—	—	—	100.0	—	4.67
	外国語学部・アジア学科	(n= 32)	53.1		43.8	3.1	—	—	—	96.9	—	4.50
	経済学部・経済学科	(n= 122)	36.9		51.6	9.0	1.6	0.8	—	88.5	2.5	4.22
	経営学部・経営学科	(n= 95)	41.1		47.4	7.4	3.2	1.1	—	88.4	4.2	4.24
	法学部・法律学科	(n= 68)	23.5		55.9	13.2	5.9	1.5	—	79.4	7.4	3.94
	総合政策学部・総合政策学科	(n= 95)	46.3		49.5	3.2	—	—	—	95.8	1.1	4.41
	理工学部・システム数理学科	(n= 45)	31.1		57.8	11.1	—	—	—	88.9	—	4.20
	理工学部・ソフトウェア工学科	(n= 73)	23.3		64.4	5.5	5.5	—	—	87.7	6.8	4.03
	理工学部・機械電子制御工学科	(n= 54)	25.9		63.0	7.4	3.7	—	—	88.9	3.7	4.11
情報理工学部（2013年以前入学者）	(n= 0)	—		—	—	—	—	—	—	—	0.00	
国際教養学部・国際教養学科	(n= 46)	50.0		45.7	—	—	—	—	95.7	4.3	4.41	
性別	男性	(n= 366)	35.8		51.9	8.5	2.7	1.1	—	87.7	3.8	4.19
	女性	(n= 502)	41.6		53.2	3.6	—	—	—	94.8	1.6	4.35
志望順位別	第1志望	(n= 616)	40.7		52.6	4.2	2.3	—	—	93.3	2.4	4.31
	第2志望以下・計	(n= 259)	35.1		52.9	8.9	2.0	0.8	—	88.0	3.1	4.19

【2022年】全体より10ポイント以上高い数値： **+10**  
 【2022年】全体より5ポイント以上高い数値： **+5**  
 【2022年】全体より5ポイント以上低い数値： **-5**  
 【2022年】全体より10ポイント以上低い数値： **-10**

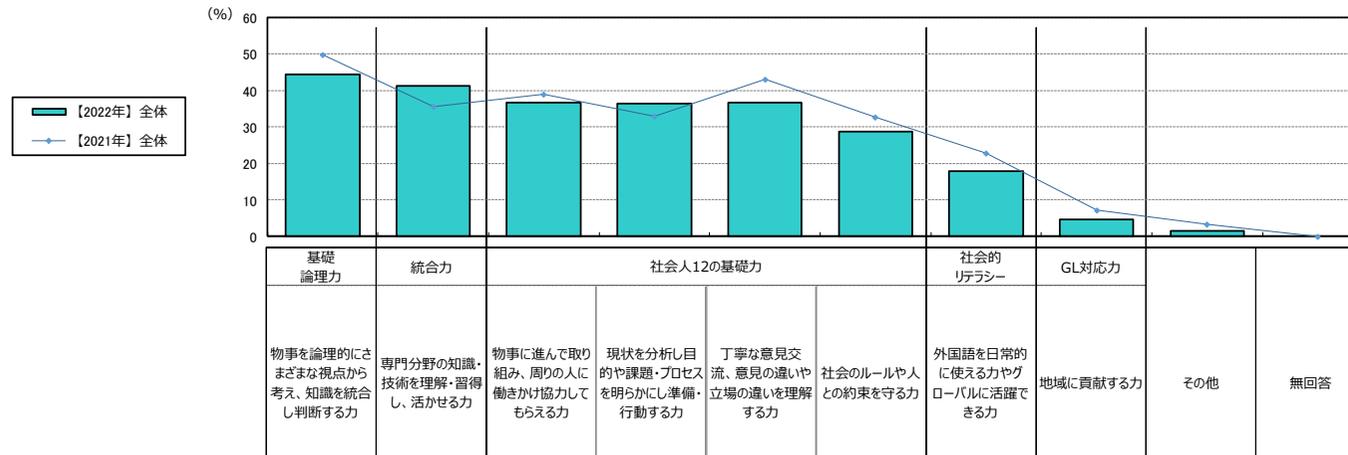
## 第2章：在学中の成長 「Q.本学での学校生活でどのような力が身につきましたか。」

在学中の成長で「学校生活で身につけた力」は、1位は昨年と同じ「基礎論理力」（物事を論理的にさまざまな視点から考え、知識を統合し判断する力）である。2位「統合力」（専門分野の知識・技術を理解・習得し、活かせる力）は、昨年の4位から順位が上がった。特に人文学部キリスト教学科と理工学部で「統合力」を身につけたとする回答の数値が高い。

「社会的リテラシー」（外国語を日常的に使える力やグローバルに活躍できる力）は、外国語学部、国際教養学部が全体よりも高い数値となっている。コロナ禍で留学に影響があった影響か数値は昨年よりも低下しているが学部の特性が表れている。また、「社会人12の基礎力」（丁寧な意見交流、意見の違いや立場の違いを理解する力）は全体の数値が昨年より低下した。

### ■身についた能力（全体/複数回答）

Q11. 本学で学生生活を送って、どのような力が身につきましたか。あてはまるものすべてをお選びください。（複数選択可）



		調査数	基礎論理力	統合力	社会人12の基礎力				社会的リテラシー	GL対応力	その他	無回答
			物事を論理的にさまざまな視点から考え、知識を統合し判断する力	専門分野の知識・技術を理解・習得し、活かせる力	物事に進んで取り組み、周りの人に働きかけ協力してもらえらる力	現状を分析的に課題・プロセスを明らかにし準備・行動する力	丁寧な意見交流、意見の違いや立場の違いを理解する力	社会のルールや人との約束を守る力	外国語を日常的に使える力やグローバルに活躍できる力	地域に貢献する力		
【2021年】全体		843	49.7	35.7	38.9	33.0	43.1	32.6	22.8	7.2	3.3	—
【2022年】全体		875	44.5	41.4	36.7	36.3	36.7	28.7	17.9	4.7	1.6	—
学部、学科	人文学部・キリスト教学科	4	50.0	75.0	50.0	50.0	50.0	25.0	25.0	25.0	—	—
コース別	人文学部・人類文化学科	27	63.0	37.0	40.7	44.4	44.4	40.7	11.1	11.1	—	—
	人文学部・心理人間学科	26	57.7	38.5	76.9	65.4	61.5	34.6	11.5	3.8	—	—
	人文学部・日本文化学科	40	47.5	45.0	37.5	45.0	47.5	35.0	5.0	7.5	2.5	—
	外国語学部・英米学科	64	45.3	45.3	23.4	23.4	56.3	25.0	50.0	3.1	—	—
	外国語学部・スペイン・ラテンアメリカ学科	37	37.8	45.9	43.2	32.4	35.1	21.6	62.2	5.4	2.7	—
	外国語学部・フランス学科	23	39.1	43.5	43.5	21.7	43.5	34.8	60.9	—	—	—
	外国語学部・ドイツ学科	24	41.7	50.0	45.8	29.2	37.5	29.2	58.3	8.3	—	—
	外国語学部・アジア学科	32	31.3	31.3	56.3	31.3	56.3	31.3	28.1	9.4	—	—
	経済学部・経済学科	122	45.1	31.1	33.6	31.1	27.0	28.7	5.7	4.1	4.1	—
	経営学部・経営学科	95	30.5	35.8	43.2	36.8	30.5	35.8	8.4	3.2	1.1	—
	法学部・法律学科	68	45.6	39.7	25.0	30.9	32.4	27.9	—	2.9	—	—
	総合政策学部・総合政策学科	95	57.9	27.4	36.8	44.2	48.4	32.6	15.8	11.6	1.1	—
	理工学部・システム数理学科	45	44.4	55.6	17.8	24.4	11.1	15.6	2.2	—	2.2	—
	理工学部・ソフトウェア工学科	73	39.7	64.4	27.4	38.4	21.9	20.5	2.7	1.4	4.1	—
	理工学部・機械電子制御工学科	54	38.9	55.6	35.2	38.9	13.0	27.8	5.6	1.9	1.9	—
	情報理工学部（2013年以前入学者）	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	国際教養学部・国際教養学科	46	52.2	34.8	47.8	52.2	60.9	23.9	43.5	2.2	—	—
性別	男性	366	46.2	41.8	32.0	31.7	26.0	24.9	9.8	3.6	3.3	—
	女性	502	43.2	41.2	40.4	39.2	44.8	31.7	23.7	5.4	0.4	—
志望順位別	第1志望	616	46.6	42.9	38.0	40.1	39.6	31.2	18.5	4.4	1.0	—
	第2志望以下・計	259	39.4	37.8	33.6	27.4	29.7	22.8	16.6	5.4	3.1	—

▲ +10 : 【2022年】全体より10ポイント以上高い数値  
▲ +5 : 【2022年】全体より5ポイント以上高い数値  
▼ -5 : 【2022年】全体より5ポイント以上低い数値  
▼ -10 : 【2022年】全体より10ポイント以上低い数値

## 第2章：在学中の成長(貴学) 「Q.身についた力は主にどのようなところから身につきましたか。」

在学中の成長で「学校生活で身につけた能力」は、6.「社会人12の基礎力」(社会のルールや人との約束を守る力)と9.「その他」を除き、全ての能力が「授業・ゼミ・実習・研究」が源泉となっている。これは昨年と同様の傾向で、教育研究という大学が本来持つ役割が十分に機能していることを示している。6.「社会人12の基礎力」(社会のルールや人との約束を守る力)を「アルバイト」で身につけていることも昨年同様である。また、7.「外国語を日常的に使える力やグローバルに活躍できる力」は「授業・ゼミ・実習・研究」に次いで「留学」で身につけたとする数値が高くなっている。

### ■身についた能力とその源泉(「身についた能力」各回答者ベース/複数回答)

Q11. 本学で学生生活を送って、どのような力が身につきましたか。あてはまるものすべてをお選びください。(複数選択可)

Q12. その力は、主にどのようなところから身についたと思いますか。(あなたが11で選んだ項目が表示されています。)

(%)

			身についた能力の源泉									
			授業・ゼミ・実習・研究	教員との交流	友人との交流	クラブ・サークル活動	アルバイト	ボランティア活動	学内外イベント・大会・コンペ・ワークショップなどへの参加	インターンシップ・就職活動	留学	
		調査数										
身についた能力	基礎論理力	1.物事を論理的にさまざまな視点から考え、知識を統合し判断する力	389	92.3	19.3	28.0	20.6	24.2	4.6	2.8	14.9	12.3
	統合力	2.専門分野の知識・技術を理解・習得し、活かせる力	362	96.1	24.6	16.9	8.6	11.3	1.7	1.9	6.1	9.1
	社会人12の基礎力	3.物事に進んで取り組み、周りの人に働きかけ協力してもらえる力	321	68.5	16.5	43.0	46.7	38.3	6.9	4.4	17.4	15.9
		4.現状を分析し目的や課題・プロセスを明らかにし準備・行動する力	318	87.1	19.8	20.4	26.4	25.2	4.7	3.8	20.4	6.9
		5.丁寧な意見交流、意見の違いや立場の違いを理解する力	321	76.0	25.2	43.9	36.1	32.7	5.9	2.8	16.8	17.1
		6.社会のルールや人との約束を守る力	251	52.2	30.3	40.6	41.8	60.6	4.4	4.4	35.5	9.6
		7.外国語を日常的に使える力やグローバルに活躍できる力	157	75.8	29.9	31.2	9.6	9.6	7.6	7.0	5.7	59.9
		8.地域に貢献する力	41	41.5	19.5	12.2	24.4	31.7	39.0	4.9	14.6	7.3
		9.その他	14	14.3	7.1	28.6	21.4	57.1	—	7.1	7.1	—

**1st** : 身についた能力の源泉の中で、最も高いスコア

**2nd** : 身についた能力の源泉の中で、2番目に高いスコア

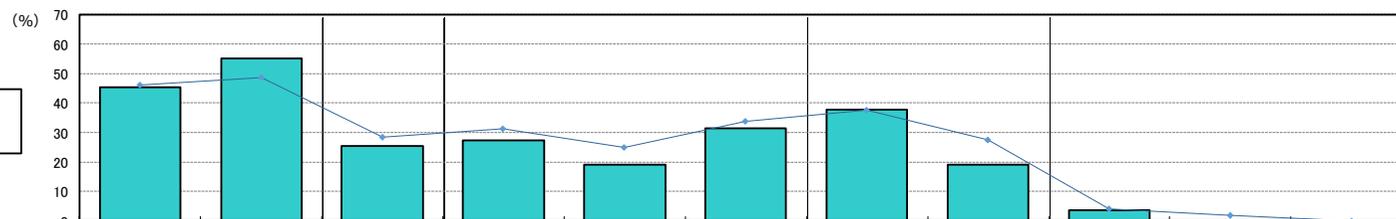
**3rd** : 身についた能力の源泉の中で、3番目に高いスコア

## 第2章：在学中の成長 「Q.成長できたと評価できるきっかけは何でしたか？」

在学中の成長のきっかけは、1位「学業」（ゼミでのテーマにチャレンジしたこと、卒業論文・制作を仕上げたこと）、2位「学業」（授業を理解しようと努力したこと、素晴らしい授業に出会えたこと）、3位「学外」（就職活動）となっており、1位から3位まで昨年と同じ項目・順位である。「学業」については人文学部、外国語学部で全般的に数値が高い。人文学部、外国語学部は「教授、先生」（教授、先生から直接指導を受けたこと、尊敬できる教員に出会えたこと）も数値が高い傾向にある。また、外国語学部、国際教養学部は「学外」（海外留学）がきっかけとなったと回答する比率が他学部より高い。

### ■成長の機会（全体／複数回答）

Q14. 本学での学生生活において、「自分が成長できた」と評価できることはどのようなことがきっかけでしたか。あてはまることをすべてお選びください。（複数選択可）



調査数	学業		教授、先生		学業以外のキャンパスライフ			学外		その他	特になかった	無回答
	授業を理解しようと努力したこと、素晴らしい授業に出会えたこと	ゼミでのテーマにチャレンジしたこと、卒業論文・制作を仕上げたこと	教授、先生から直接指導を受けたこと、尊敬できる教員に出会えたこと	学内イベント・発表会、クラブ・サークル活動	クラブ・サークル活動の運営やとりまとめ、学園祭の企画・運営を行ったこと	学内の先輩・友人との人間関係	就職活動	海外留学				
[2021年] 全体	843	46.1	48.8	28.5	31.2	24.8	33.7	37.5	27.4	4.0	1.9	—
[2022年] 全体	875	45.4	55.0	25.4	27.4	19.0	31.5	37.6	19.1	3.7	2.5	—
学部、学科												
コース別												
人文学部・キリスト教学科	4	75.0	75.0	50.0	100.0	25.0	25.0	25.0	25.0	—	—	—
人文学部・人類文化学科	27	77.8	48.1	48.1	40.7	14.8	33.3	29.6	11.1	3.7	—	—
人文学部・心理人間学科	26	53.8	76.9	34.6	23.1	19.2	30.8	53.8	7.7	3.8	—	—
人文学部・日本文化学科	40	57.5	70.0	25.0	40.0	20.0	45.0	42.5	15.0	2.5	—	—
外国語学部・英米学科	64	54.7	65.6	48.4	26.6	15.6	35.9	43.8	31.3	3.1	3.1	—
外国語学部・スペイン・ラテンアメリカ学科	37	54.1	56.8	27.0	24.3	10.8	35.1	35.1	56.8	2.7	—	—
外国語学部・フランス学科	23	56.5	39.1	30.4	43.5	26.1	47.8	30.4	52.2	4.3	—	—
外国語学部・ドイツ学科	24	37.5	54.2	45.8	29.2	20.8	33.3	25.0	50.0	8.3	—	—
外国語学部・アジア学科	32	59.4	40.6	25.0	15.6	21.9	25.0	34.4	59.4	—	—	—
経済学部・経済学科	122	36.1	54.9	13.9	27.9	17.2	32.0	38.5	6.6	4.9	3.3	—
経営学部・経営学科	95	35.8	52.6	13.7	31.6	27.4	36.8	44.2	9.5	5.3	—	—
法学部・法律学科	68	50.0	30.9	20.6	14.7	16.2	26.5	38.2	4.4	—	2.9	—
総合政策学部・総合政策学科	95	47.4	71.6	28.4	27.4	22.1	31.6	49.5	26.3	1.1	—	—
理工学部・システム数理学科	45	46.7	44.4	17.8	20.0	11.1	20.0	35.6	4.4	4.4	2.2	—
理工学部・ソフトウェア工学科	73	39.7	52.1	20.5	27.4	17.8	31.5	20.5	2.7	2.7	8.2	—
理工学部・機械電子制御工学科	54	18.5	63.0	27.8	25.9	18.5	20.4	29.6	3.7	7.4	7.4	—
情報理工学部（2013年以前入学者）	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
国際教養学部・国際教養学科	46	50.0	45.7	26.1	26.1	19.6	26.1	32.6	43.5	6.5	6.5	—
性別												
男性	366	40.2	51.1	19.7	25.1	18.3	29.0	33.3	10.7	5.2	3.6	—
女性	502	48.8	57.8	29.9	29.3	19.5	33.9	40.8	25.3	2.6	1.8	—
志望順位別												
第1志望	616	48.2	57.3	29.5	28.1	19.0	34.4	37.8	17.9	2.8	2.1	—
第2志望以下・計	259	38.6	49.4	15.4	25.9	18.9	24.7	37.1	22.0	5.8	3.5	—

+10 : [2022年]全体より10ポイント以上高い数値  
+5 : [2022年]全体より5ポイント以上高い数値  
-5 : [2022年]全体より5ポイント以上低い数値  
-10 : [2022年]全体より10ポイント以上低い数値

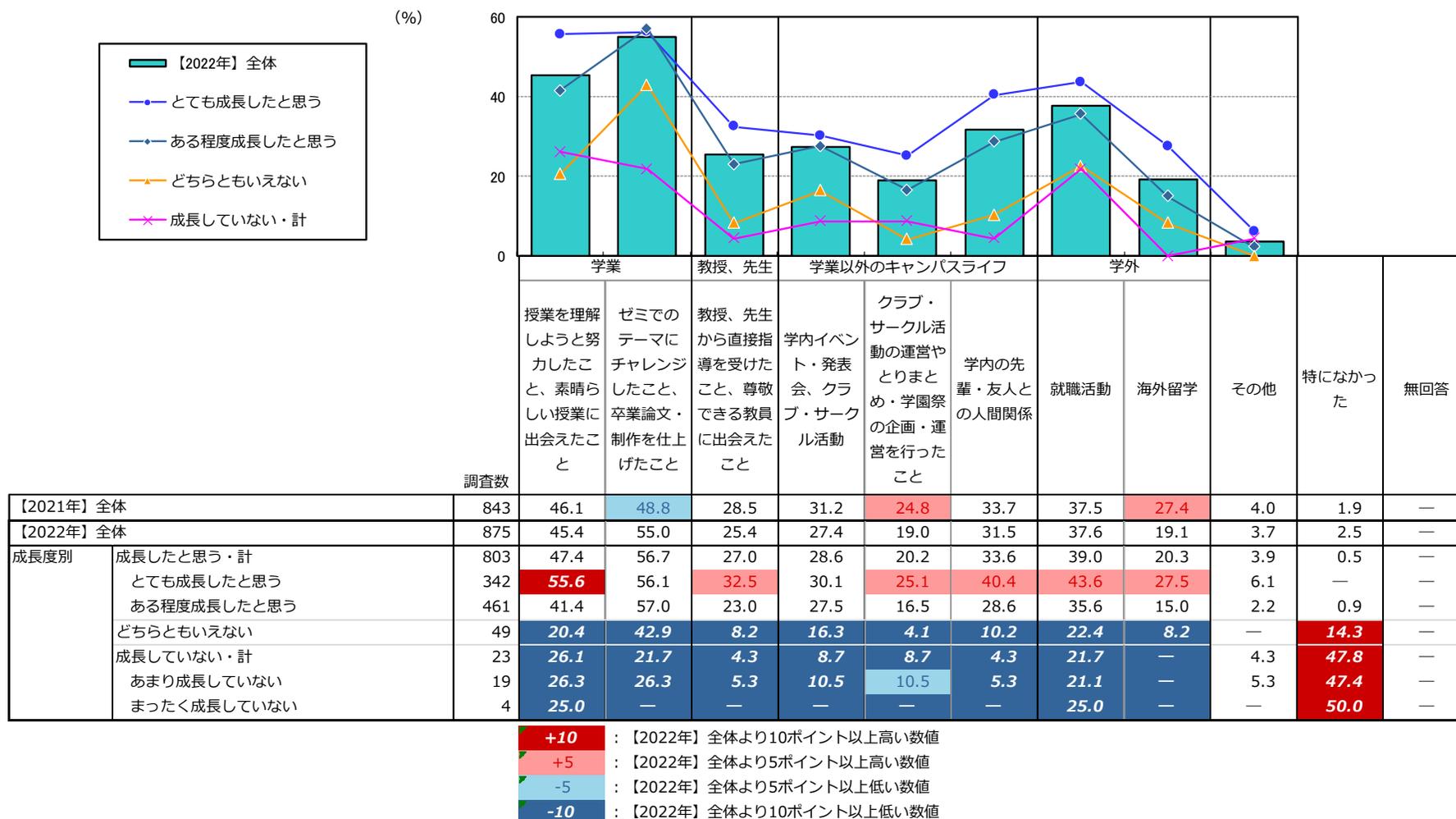
## 第2章：在学中の成長 「Q.成長できたと評価できるきっかけは何でしたか？」

在学中の成長のきっかけを、成長を実感しているグループと成長を実感していないグループで分け、数値を比較すると明らかな差がある。特に「とても成長したと思う」と回答した342名（回答者全体の約4割に当たる）は、「学業」（ゼミでのテーマにチャレンジしたこと、卒業論文・制作を仕上げたこと）では、「ある程度成長したと思う」と回答したグループにわずかに及ばないものの、それを除く全ての項目で数値が高い。一方、「あまり成長していない」、「まったく成長していない」と回答したグループの半数は、成長できたと評価できるきっかけが「特になかった」と回答している。

### ■成長度とその機会（全体／複数回答）

Q13. 本学に入学してから、あなたはどの程度成長したという実感がありますか。（ひとつを選択）

Q14. 本学での学生生活において、「自分が成長できた」と評価できることはどのようなことがきっかけでしたか。あてはまることをすべてお選びください。（複数選択可）



# 第3章

## 卒業時の評価

# 第3章：卒業時の評価

卒業時の全体評価による満足度を見ると、加重平均値で、

1位14.「教授」（教授、先生が授業の取り組みに熱心で、生徒の距離が近い）、

2位11.「授業」授業形式（討論・参加形式の授業《講義、授業、ゼミ等全て含めて）で協力し合って物事を進める機会が多い）、

3位13.「教授」（自分を成長させてくれる教授、先生に出会える）、が上位3つである。

これらは「とても満足している」と回答した比率も高く、1位「教授、先生が授業の取り組みに熱心で、生徒の距離が近い」は81.6%となっている。

参加形式の授業やゼミにおける教員の指導が学生の満足度に影響していることが示されている。

## ■卒業時の評価（全体／各単一回答）

Q6. 本学での学生生活を振り返って、以下の点についての程度満足していますか。（5段階評価）（あなたが05で選択した項目が表示されています。）

			満足・計		どちらとも いえない (3点)	満足していない・計		満足・計	満足して いない・計	加重 平均値 (点)
			とても満足 している (5点)	ある程度 満足している (4点)		あまり満足 していない (2点)	まったく満足 していない (1点)			
●凡例										
ブランド性	校風	1.教育方針や校風に魅力がある (n= 220)	42.7	47.7	7.7	1.8	90.5	1.8	4.31	
	歴史・伝統	2.歴史や伝統を感じることができる (n= 144)	36.8	53.5	8.3	0.7	90.3	1.4	4.25	
	評判	3.友人・知人など周囲の評判がよい (n= 357)	46.5	45.9	7.6	—	92.4	—	4.39	
授業	身につく力	4.幅広く専門的な知識・教養が身につけられる授業が多い (n= 249)	39.4	54.2	5.2	0.4	93.6	1.2	4.31	
		5.国際感覚が身につく授業が多い (n= 309)	37.2	52.1	6.8	3.6	89.3	3.9	4.22	
		6.語学力が向上する授業・制度が充実している (n= 300)	38.3	45.3	10.7	4.3	83.7	5.3	4.16	
		7.留学支援の制度が充実している (n= 183)	38.8	39.9	12.0	6.6	78.7	9.3	4.05	
		8.自分で考える力・プレゼンテーション能力が身につく授業が多い (n= 64)	56.3	35.9	4.7	3.1	92.2	3.1	4.45	
		9.職業に役立つ知識・技術を習得できる授業、目指す資格が取得できる講座が多い (n= 81)	24.7	56.8	14.8	3.7	81.5	3.7	4.02	
	授業形式	10.少人数・ゼミ形式の授業や実習が充実している (n= 79)	59.5	36.7	2.5	—	96.2	1.3	4.54	
		11.討論・参加形式の授業(講義、授業、ゼミ等全て含めて)で協力し合って物事を進める機会が多い (n= 31)	71.0	22.6	6.5	—	93.5	—	4.65	
		12.カリキュラム選択の幅が広い (n= 91)	47.3	48.4	2.2	—	95.6	2.2	4.41	
教授	13.自分を成長させてくれる教授、先生に出会える (n= 61)	68.9	24.6	6.6	—	93.4	—	4.62		
	14.教授、先生が授業の取り組みに熱心で、生徒の距離が近い (n= 38)	81.6	15.8	2.6	—	97.4	2.6	4.76		
施設	教育施設	15.研究・実習の環境が充実している (n= 37)	43.2	43.2	2.7	10.8	86.5	10.8	4.19	
		16.図書館が充実している (n= 44)	52.3	43.2	2.2	3.3	95.5	2.3	4.43	
		17.P C・インターネット等の情報環境が充実している (n= 63)	60.3	33.3	4.8	1.6	93.7	1.6	4.51	
	生活施設	18.食堂やトイレなどの生活環境が充実している (n= 112)	53.6	37.5	5.4	3.6	91.1	3.6	4.41	
19.スポーツ施設が充実している (n= 21)		61.9	33.3	4.8	—	95.2	4.8	4.52		
支援・サービス制度	20.親身になって相談のしてくれる教職員が多い (n= 23)	60.9	26.1	4.3	4.3	87.0	8.7	4.35		
	21.就職活動に対するサポート制度・キャリア教育が充実している (n= 61)	36.1	45.9	9.8	4.9	82.0	8.2	4.07		
キャンパスライフ	22.クラブ・サークル活動が充実している (n= 115)	53.0	33.0	12.2	8.9	86.1	0.9	4.39		
	23.学園祭などのイベントが充実している (n= 52)	40.4	51.9	3.8	3.8	92.3	3.8	4.29		
交友関係	人材の多様性	24.卒業生との交流が盛んである (n= 13)	30.8	30.8	23.1	7.7	61.5	15.4	3.69	
		25.外国人留学生との交流が盛んである (n= 156)	25.0	46.2	19.2	7.7	71.2	9.6	3.85	
	26.他大学との交流が盛んである (n= 19)	36.8	52.6	5.3	5.3	89.5	5.3	4.16		

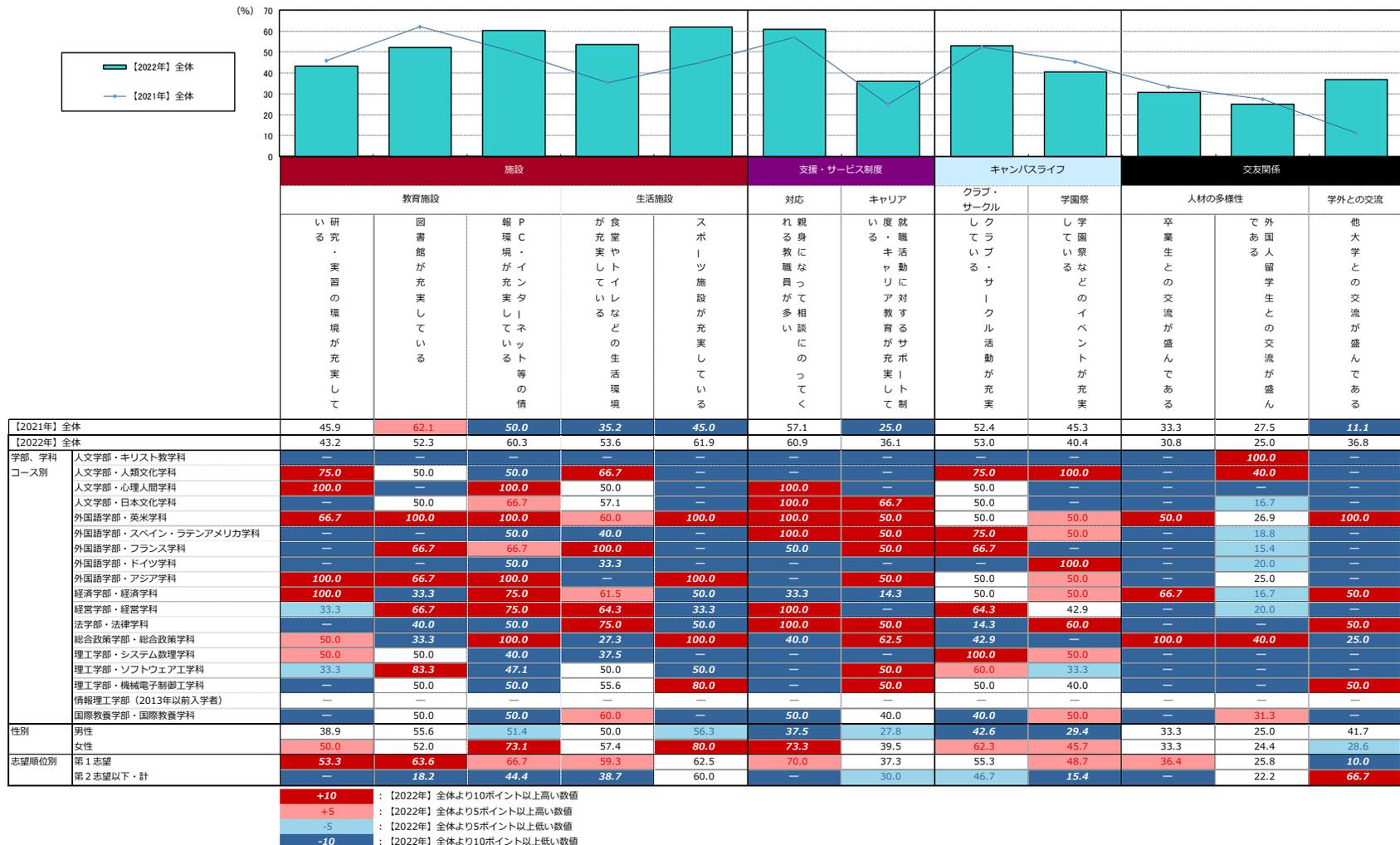


### 第3章：卒業時の評価「Q. 学生生活を振り返って、どの程度満足していますか？(2/2)」

卒業時の全体評価による「施設」への満足度は、「教育施設」と比べて、「生活施設」に対する満足度の数値が昨年よりも高くなっている。「教育施設」（PC・インターネット等の情報環境が充実している）に対する満足度が10%近く伸びている。おそらくオンライン授業等の影響があったものと考えられる。また、「支援・サービス制度」の「対応」（親身になって相談にのってくれる教職員が多い）ことへの満足度が高くなっており、学科によっては回答比率が100%となったところもある。男女別に見ると、とりわけ女性の満足度が高い項目である。

#### ■卒業時の評価（Q5回答者／複数回答）

Q6. 学生生活を振り返って、以下の点についてのどの程度満足していますか。



### 第3章：卒業時の評価「Q.学生生活を振り返って、どの程度満足していますか？(総合満足度)」

卒業時の全体評価による満足度は、全体の数値が昨年よりも向上している。学科別に見ると、最も高い満足度は人文学部・心理人間学科となっている。次いで、総合政策学部総合政策学科、人文学部・日本文化学科、外国語学部フランス学科となっている。

#### ■総合満足度(全体/数値入力)

Q15. 総合的に考えて、本学に入学し在籍したことに、あなたはどの程度満足していますか。0～100%でお答えください。

(%)

【2021年】全体		(n= 843)		81.0	
【2022年】全体		(n= 875)		83.3	
学部、学科 コース別	人文学部・キリスト教学科	(n= 4)		87.5	
	人文学部・人類文化学科	(n= 27)		85.7	
	人文学部・心理人間学科	(n= 26)		89.8	
	人文学部・日本文化学科	(n= 40)		88.6	
	外国語学部・英米学科	(n= 64)		87.2	
	外国語学部・スペイン・ラテンアメリカ学科	(n= 37)		87.4	
	外国語学部・フランス学科	(n= 23)		87.7	
	外国語学部・ドイツ学科	(n= 24)		82.7	
	外国語学部・アジア学科	(n= 32)		87.2	
	経済学部・経済学科	(n= 122)		80.2	
	経営学部・経営学科	(n= 95)		84.1	
	法学部・法律学科	(n= 68)		78.7	
	総合政策学部・総合政策学科	(n= 95)		88.0	
	理工学部・システム数理工学科	(n= 45)		78.8	
	理工学部・ソフトウェア工学科	(n= 73)		75.9	
	理工学部・機械電子制御工学科	(n= 54)		78.4	
	情報理工学部 (2013年以前入学者)	(n= 0)			
	国際教養学部・国際教養学科	(n= 46)		85.5	
	性別	男性	(n= 366)		79.8
		女性	(n= 502)		85.8
志望順位別	第1志望	(n= 616)		85.5	
	第2志望以下・計	(n= 259)		78.2	

### 第3章：卒業時の評価「Q.学生生活を振り返って、どの程度満足していますか？(進路選択)」

卒業時の全体評価による満足度で「卒業後の進路を検討・決定するプロセスや結果について」も、最も高い満足度は人文学部・心理人間学科である。次いで総合政策学部総合政策学科となり、外国語学部アジア学科、経営学部経営学科がそれに続いている。

#### ■卒業後の進路を検討・決定するプロセスや結果について(全体/数値入力)

Q18. 卒業後の進路を検討・決定するプロセスや結果について、あなたはどの程度、自分自身で納得できましたか。0～100%でお答えください。

(%)

	【2021年】全体	(n= 843)	77.8
	【2022年】全体	(n= 875)	81.7
学部、学科 コース別	人文学部・キリスト教学科	(n= 4)	82.5
	人文学部・人類文化学科	(n= 27)	71.5
	人文学部・心理人間学科	(n= 26)	86.5
	人文学部・日本文化学科	(n= 40)	82.6
	外国語学部・英米学科	(n= 64)	83.1
	外国語学部・スペイン・ラテンアメリカ学科	(n= 37)	79.8
	外国語学部・フランス学科	(n= 23)	83.3
	外国語学部・ドイツ学科	(n= 24)	78.8
	外国語学部・アジア学科	(n= 32)	85.4
	経済学部・経済学科	(n= 122)	79.1
	経営学部・経営学科	(n= 95)	84.0
	法学部・法律学科	(n= 68)	78.4
	総合政策学部・総合政策学科	(n= 95)	86.4
	理工学部・システム数理学科	(n= 45)	79.5
	理工学部・ソフトウェア工学科	(n= 73)	78.8
	理工学部・機械電子制御工学科	(n= 54)	80.8
	情報理工学部（2013年以前入学者）	(n= 0)	
	国際教養学部・国際教養学科	(n= 46)	86.8
性別	男性	(n= 366)	79.6
	女性	(n= 502)	83.2
志望順位別	第1志望	(n= 616)	83.5
	第2志望以下・計	(n= 259)	77.3

### 第3章：卒業時の評価「Q.後輩が進学先を検討の際、本学を薦めますか？(推奨意向度)」

後輩への推奨意向度は、昨年から上昇傾向にあり、「強く薦めると思う」と回答した比率は昨年よりもさらに伸びた。回答者数が少ないものの、人文学部キリスト教学科は100%である。

#### ■推奨意向 (全体/単一回答)

Q17. あなたの後輩が進学先を検討していたら、あなたは本学を薦めますか。(ひとつを選択)

	(%)	薦める・計		薦めない・計 (態度保留含む)			薦める・計	薦めない・計	加重平均値 (点)	
		強く薦めると思う (5点)	薦めると思う (4点)	どちらともいえない (3点)	あまり薦めないと 思う (2点)	薦めない (1点)				無回答
●凡例										
[2016年] 全体	(n= 824)	18.0	55.6	20.1	2.7	1.5	2.2	73.5	24.3	3.88
[2017年] 全体	(n=1,563)	17.0	54.6	20.7	3.3	2.3	2.0	71.7	26.3	3.82
[2018年] 全体	(n=1,516)	15.4	52.5	22.6	4.6	2.8	2.0	67.9	30.0	3.75
[2019年] 全体	(n=1,592)	13.4	55.0	23.2	3.6	3.0	1.8	68.3	29.9	3.73
[2020年] 全体	(n=1,621)	14.7	55.2	21.9	3.5	3.3	1.4	69.9	28.7	3.76
[2021年] 全体	(n= 843)	21.9	54.2	19.7	2.4	1.8	—	76.2	4.2	3.92
[2022年] 全体	(n= 875)	26.6	53.1	16.0	2.9	1.4	—	79.8	4.2	4.01
学部、学科										
コース別										
人文学部・キリスト教学科	(n= 4)	50.0	50.0	—	—	—	—	100.0	—	4.50
人文学部・人類文化学科	(n= 27)	22.2	48.1	25.9	—	3.7	—	70.4	3.7	3.85
人文学部・心理人間学科	(n= 26)	23.1	65.4	7.7	3.8	—	—	88.5	3.8	4.08
人文学部・日本文化学科	(n= 40)	22.5	57.5	20.0	—	—	—	80.0	—	4.03
外国語学部・英米学科	(n= 64)	39.1	48.4	10.9	1.6	—	—	87.5	1.6	4.25
外国語学部・スペイン・ラテンアメリカ学科	(n= 37)	29.7	64.9	5.4	—	—	—	94.6	—	4.24
外国語学部・フランス学科	(n= 23)	17.4	69.6	8.7	4.3	—	—	87.0	4.3	4.00
外国語学部・ドイツ学科	(n= 24)	25.0	45.8	20.8	8.3	—	—	70.8	8.3	3.88
外国語学部・アジア学科	(n= 32)	37.5	53.1	9.4	—	—	—	90.6	—	4.28
経済学部・経済学科	(n= 122)	29.5	45.1	23.0	1.0	0.8	—	74.6	2.5	4.01
経営学部・経営学科	(n= 95)	34.7	48.4	14.7	2.1	—	—	83.2	2.1	4.16
法学部・法律学科	(n= 68)	16.2	66.2	11.8	4.4	1.5	—	82.4	5.9	3.91
総合政策学部・総合政策学科	(n= 95)	36.8	50.5	9.5	2.1	1.1	—	87.4	3.2	4.20
理工学部・システム数理学科	(n= 45)	24.4	53.3	11.1	4.4	6.7	—	77.8	11.1	3.84
理工学部・ソフトウェア工学科	(n= 73)	6.8	50.7	31.5	3.7	3.7	8.2	57.5	11.0	3.51
理工学部・機械電子制御工学科	(n= 54)	9.3	57.4	25.9	3.7	3.7	—	66.7	7.4	3.65
情報理工学部 (2013年以前入学者)	(n= 0)	—	—	—	—	—	—	—	—	0.00
国際教養学部・国際教養学科	(n= 46)	34.8	54.3	6.3	2.2	2.2	—	89.1	4.3	4.17
性別										
男性	(n= 366)	19.1	53.0	21.9	3.8	2.2	—	72.1	6.0	3.83
女性	(n= 502)	32.1	54.0	11.0	2.0	0.8	—	86.1	3.0	4.14
志望順位別										
第1志望	(n= 616)	30.5	53.9	13.0	1.6	0.0	—	84.4	2.6	4.11
第2志望以下・計	(n= 259)	17.4	51.4	23.2	5.8	2.3	—	68.7	8.1	3.76

[2022年] 全体より10ポイント以上高い数値: **+10**  
 [2022年] 全体より5ポイント以上高い数値: **+5**  
 [2022年] 全体より5ポイント以上低い数値: **-5**  
 [2022年] 全体より10ポイント以上低い数値: **-10**

# **第4章**

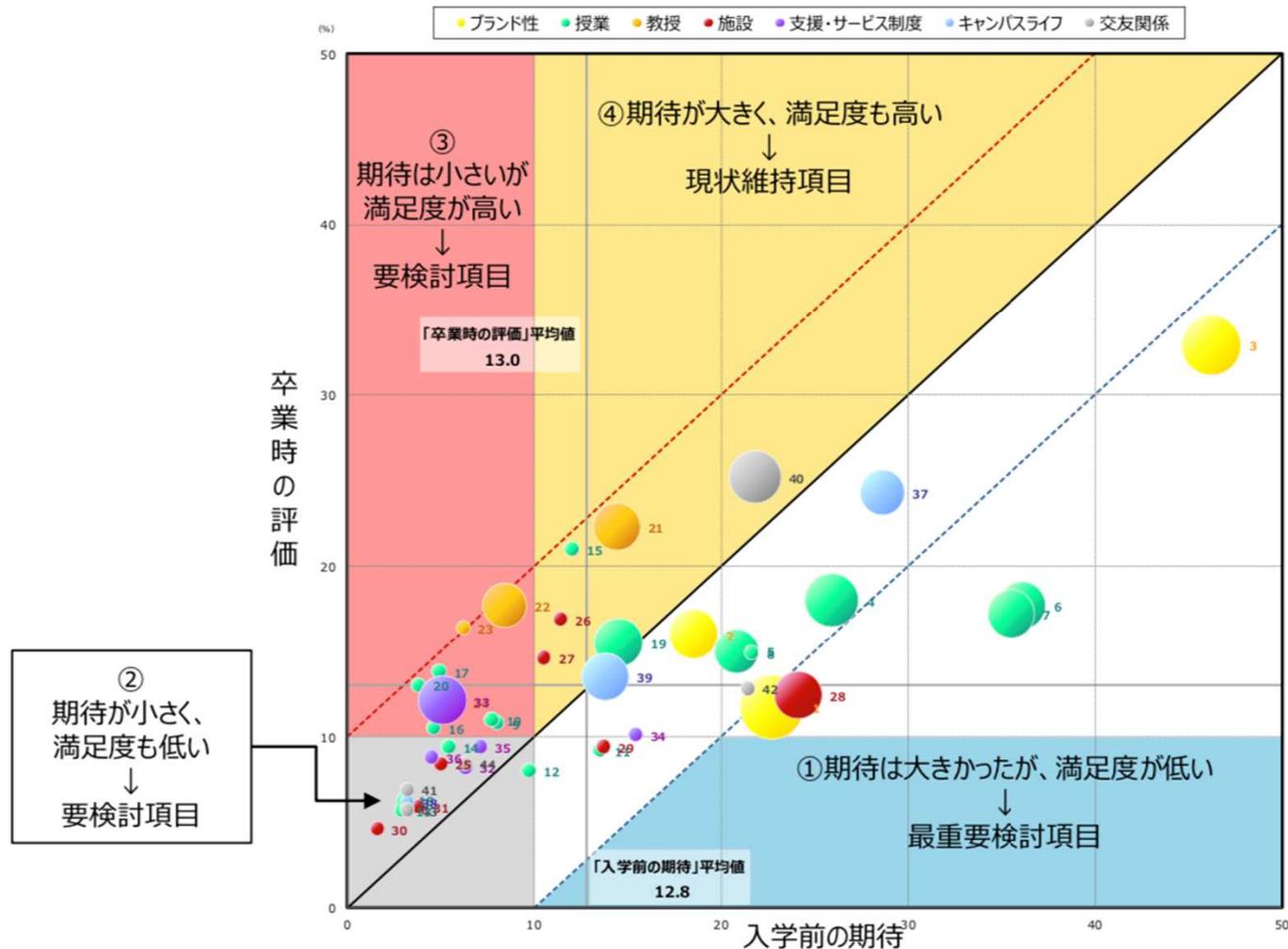
## **入学前の期待×卒業時の評価**

## 第4章：「入学前の期待」×「卒業時の評価」

### グラフの見方について

X軸に「入学前の期待」、Y軸に「卒業時の評価」を置き、4か所のエリアにおいてそれぞれ課題を抽出

- ①「入学前の期待は大きかったが、卒業時の満足度が低い」→最重要検討項目
- ②「入学前の期待が小さく、卒業時も満足度が低い」→要検討項目
- ③「入学前の期待が小さいが、卒業時の満足度が高い」→要検討項目
- ④「入学前の期待が大きく、卒業時も満足度が高い」→現状維持項目



# 第4章：「入学前の期待」×「卒業時の評価」

## ■入学前の期待（全体／複数回答）と卒業時の評価（Q5回答者／各単一回答）

Q5. あなたは本学にどのようなことを期待していましたか。あてはまるものすべてをお選びください。（複数選択可）

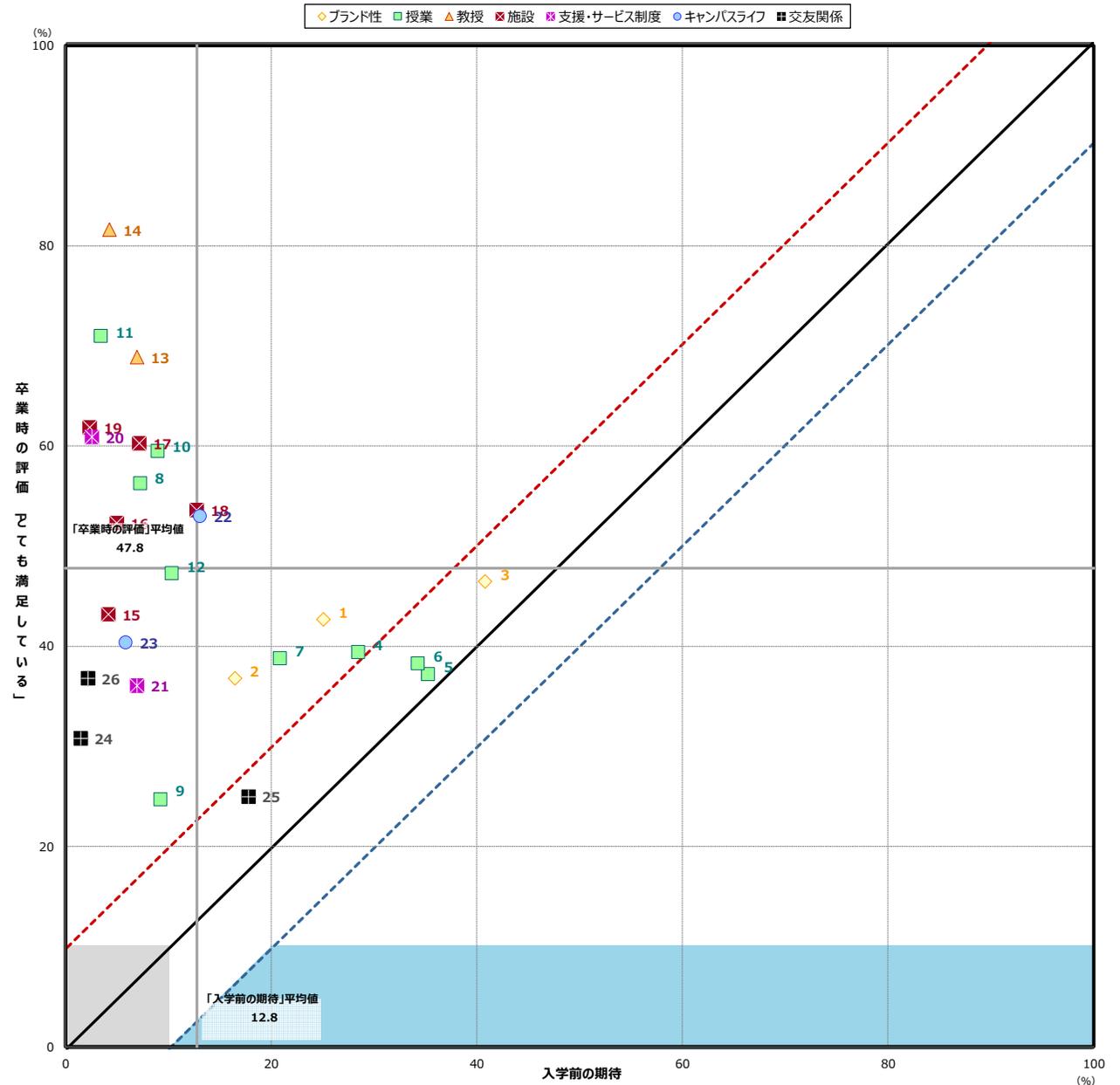
Q6. 本学での学生生活を振り返って、以下の点についての程度満足していますか。（5段階評価）（あなたがQ5で選択した項目が表示されています。）

		入学前の期待 (n=875)	卒業時の評価 「とても満足 している」	GAP 「満足」 - 「期待」	
ブランド性	校風	1 教育方針や校風に魅力がある	25.1	42.7	17.6
	歴史・伝統	2 歴史や伝統を感じることができる	16.5	36.8	20.3
	評判	3 友人・知人など周囲の評判がよい	40.8	46.5	5.7
授業	身につく力	4 幅広く専門的な知識・教養が身につけられる授業が多い	28.5	39.4	10.9
		5 国際感覚が身につく授業が多い	35.3	37.2	1.9
		6 語学力が向上する授業・制度が充実している	34.3	38.3	4.0
		7 留学支援の制度が充実している	20.9	38.8	17.9
	授業形式	8 自分で考える力・プレゼンテーション能力が身につく授業が多い	7.3	56.3	49.0
		9 職業に役立つ知識・技術を習得できる授業、目指す資格が取得できる講座が多い	9.3	24.7	15.4
授業システム	10 少人数・ゼミ形式の授業や実習が充実している	9.0	59.5	50.5	
	11 討論・参加形式の授業(講義、授業、ゼミ等全て含めて)で協力し合って物事を進める機会が多い	3.5	71.0	67.5	
	12 カリキュラム選択の幅が広い	10.4	47.3	36.9	
教授	13 自分を成長させてくれる教授、先生に出会える	7.0	68.9	61.9	
	14 教授、先生が授業の取り組みに熱心で、生徒との距離が近い	4.3	81.6	77.3	
施設	教育施設	15 研究・実習の環境が充実している	4.2	43.2	39.0
		16 図書館が充実している	5.0	52.3	47.3
	生活施設	17 P C・インターネット等の情報環境が充実している	7.2	60.3	53.1
		18 食堂やトイレなどの生活環境が充実している	12.8	53.6	40.8
	19 スポーツ施設が充実している	2.4	61.9	59.5	
支援・サービス制度	対応	20 親身になって相談のしてくれる教職員が多い	2.6	60.9	58.3
	キャリア	21 就職活動に対するサポート制度・キャリア教育が充実している	7.0	36.1	29.1
キャンパスライフ	クラブ・サークル	22 クラブ・サークル活動が充実している	13.1	53.0	39.9
	学園祭	23 学園祭などのイベントが充実している	5.9	40.4	34.5
交友関係	人材の多様性	24 卒業生との交流が盛んである	1.5	30.8	29.3
		25 外国人留学生との交流が盛んである	17.8	25.0	7.2
		26 他大学との交流が盛んである	2.2	36.8	34.6
平均値			12.8	47.8	

【平均データ基準】※【入学前の期待】が平均値以上で、【卒業時の評価】が平均値未満の項目は青色太字

【絶対データ基準】※【入学前の期待】が10%以上で、【卒業時の評価】が【入学前の期待】より10Point以上低い項目は薄青色網掛け

※【入学前の期待】と【卒業時の評価】がいずれも10%未満の項目はグレー網掛け



①「入学前の期待は大きかったが、卒業時の満足度が低い」→最重要検討項目

入学前の期待は平均値が12.8と低いため、該当する項目はないが、課題としてあげるとすれば、「【入学前の期待】が平均値以上で【卒業時の評価】が平均値未満」の項目となる。該当する項目は、番号順に次の通りである（末尾の数値は「満足」－「期待」GAP、以下同じ）。

- 1.「ブランド性」校風（教育方針や校風に魅力がある） 17.6
- 2.「ブランド性」歴史・伝統（歴史や伝統を感じることができる） 20.3
- 3.「ブランド性」評判（友人・知人など周囲の評判がよい） 5.7
- 4.「授業」身につく力（幅広く専門的な知識・教養が身につけられる授業が多い） 10.9
- 5.「授業」身につく力（国際感覚が身につく授業が多い） 1.9
- 6.「授業」身につく力（語学力が向上する授業・制度が充実している） 4.0
- 7.「授業」身につく力（留学支援の制度が充実している） 17.9
- 25.「交友関係」人材の多様性（外国人留学生との交流が盛んである） 7.2

いずれの項目も卒業時の評価（満足度）との差はプラスの値となっている。つまり、満足度が期待を上回っていることになる。5.「授業」身につく力（国際感覚が身につく授業が多い）と6.「授業」身につく力（語学力が向上する授業・制度が充実している）は、プラスの値が他の項目よりも低いですが、差はプラスの値となっているため、入学前の期待通りの結果だったと解釈することもできる。

#### 第4章：「入学前の期待」×「卒業時の評価」

##### ②「入学前の期待が小さく、卒業時も満足度が低い」→要検討項目

該当する項目はないが、卒業時の満足度が下位の項目は番号順に次の通りである。

- ・ 9.「授業」身につく力（職業に役立つ知識・技術を習得できる授業、目指す資格が取得できる講座が多い） 15.4
- ・ 25.「交友関係」人材の多様性（外国人留学生との交流が盛んである） 7.2

##### ③「入学前の期待が小さいが、卒業時の満足度が高い」→要検討項目

入学前の期待が小さかった項目は番号順に次の通りである。

- ・ 11.「授業」授業形式（討論・参加形式の授業《講義、授業、ゼミ等全て含めて》で協力し合って物事を進める機会が多い） 67.5
- ・ 19.「施設」生活施設（スポーツ施設が充実している） 59.5
- ・ 20.「支援・サービス制度」対応（親身になって相談にのってくれる教職員が多い） 58.3
- ・ 24.「交友関係」人材の多様性（卒業生との交流が盛んである） 29.3
- ・ 26.「交友関係」学外との交流（他大学との交流が盛んである） 34.6

いずれの項目も卒業時の評価（満足度）の数値は平均値を超えており、入学前の期待以上の満足度を与えている。

④「入学前の期待が大きく、卒業時も満足度が高い」→現状維持項目

入学前の期待は平均値が12.8と低いため、該当する項目はないが、次の項目は入学時の期待が最も高かった項目である。満足度が高いとは言えないが、卒業時の評価（満足度）と入学前の期待の数値の差はプラスの値となっている。そのため、学生にとって期待通りの結果を得られた項目と見ることができる。

- 3.「ブランド性」評判（友人・知人など周囲の評判がよい） 5.7

# 第4章：「入学前の期待」×「卒業時の評価」

## ■入学前の期待（全体／複数回答）と卒業時の評価（Q5回答者／各単一回答）

Q5. あなたは本学にどのようなことを期待していましたか。あてはまるものをすべてお選びください。（複数選択可）

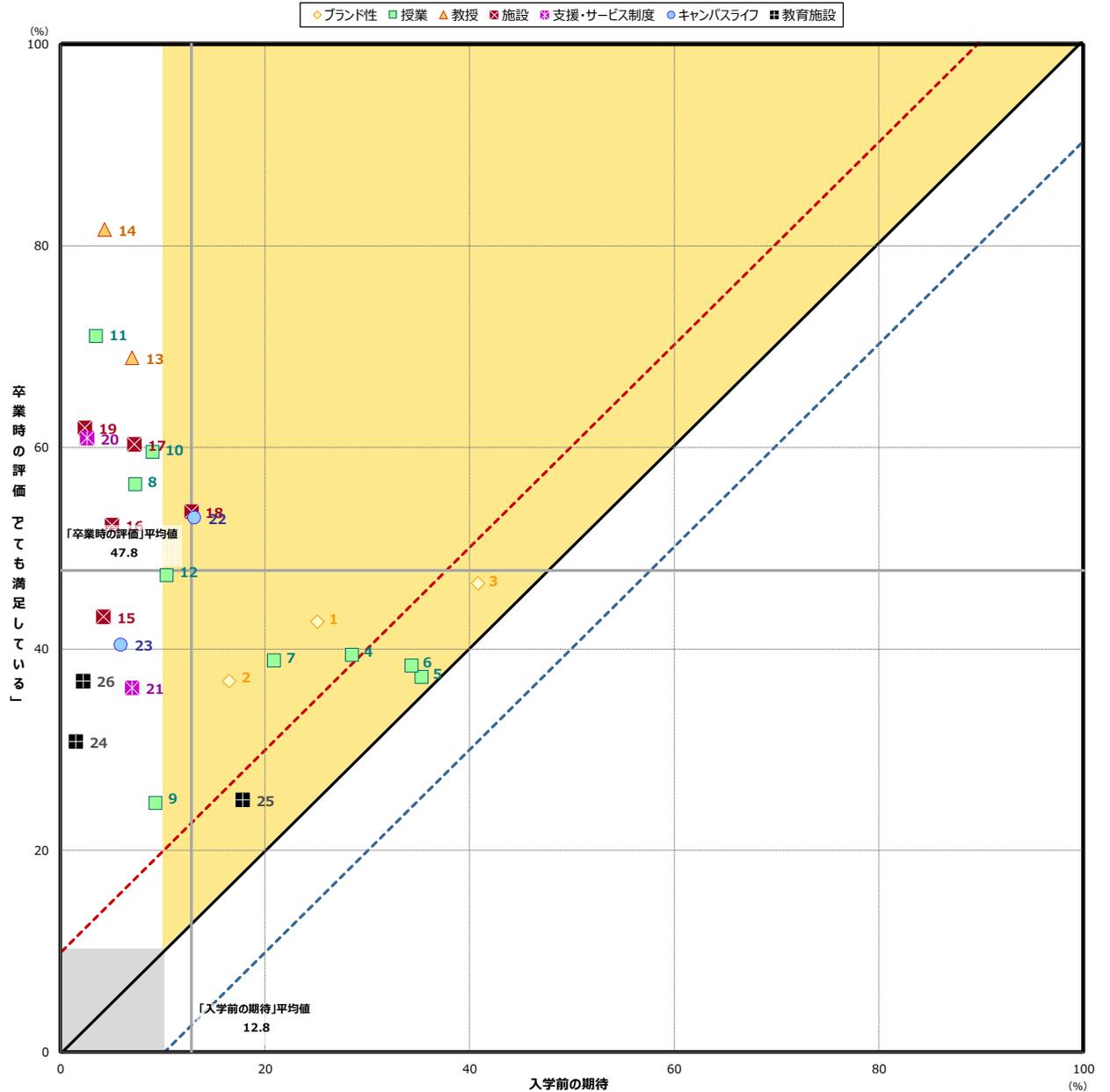
Q6. 本学での学生生活を振り返って、以下の点についての程度満足していますか。（5段階評価）（あなたがQ5で選択した項目が表示されています。）

		入学前の期待 (n=875)	卒業時の評価 「とても満足している」	GAP 「満足」 - 「期待」	
ブランド性	校風	1 教育方針や校風に魅力がある	25.1	42.7	17.6
	歴史・伝統	2 歴史や伝統を感じることができる	16.5	36.8	20.3
	評判	3 友人・知人など周囲の評判がよい	40.8	46.5	5.7
授業	身につく力	4 幅広く専門的な知識・教養が身につけられる授業が多い	28.5	39.4	10.9
		5 国際感覚が身につく授業が多い	35.3	37.2	1.9
		6 語学力が向上する授業・制度が充実している	34.3	38.3	4.0
		7 留学支援の制度が充実している	20.9	38.8	17.9
		8 自分で考える力・プレゼンテーション能力が身につく授業が多い	7.3	56.3	49.0
	授業形式	9 職業に役立つ知識・技術を習得できる授業、目指す資格が取得できる講座が多い	9.3	24.7	15.4
		10 少人数・ゼミ形式の授業や実習が充実している	9.0	59.5	50.5
		11 討論・参加形式の授業(講義、授業、ゼミ等全て含めて)で協力し合っ物事を進める機会が多い	3.5	71.0	67.5
		12 カリキュラム選択の幅が広い	10.4	47.3	36.9
		13 自分を成長させてくれる教授、先生に出会える	7.0	68.9	61.9
教授	14 教授、先生が授業の取り組みに熱心で、生徒との距離が近い	4.3	81.6	77.3	
	教育施設	15 研究・実習の環境が充実している	4.2	43.2	39.0
16 図書館が充実している		5.0	52.3	47.3	
17 P C・インターネット等の情報環境が充実している		7.2	60.3	53.1	
施設	生活施設	18 食堂やトイレなどの生活環境が充実している	12.8	53.6	40.8
	19 スポーツ施設が充実している	2.4	61.9	59.5	
支援・サービス制度	対応	20 親身になって相談のつくれる教職員が多い	2.6	60.9	58.3
	キャリア	21 就職活動に対するサポート制度・キャリア教育が充実している	7.0	36.1	29.1
キャンパスライフ	クラブ・サークル	22 クラブ・サークル活動が充実している	13.1	53.0	39.9
	学園祭	23 学園祭などのイベントが充実している	5.9	40.4	34.5
交友関係	人材の多様性	24 卒業生との交流が盛んである	1.5	30.8	29.3
	25 外国人留学生との交流が盛んである	17.8	25.0	7.2	
	教育施設	26 他大学との交流が盛んである	2.2	36.8	34.6
平均値			12.8	47.8	

【平均データ基準】※【入学前の期待】と【卒業時の評価】がいずれも平均値以上の項目は橙色太字

【絶対データ基準】※【入学前の期待】が10%以上で、【卒業時の評価】が【入学前の期待】より高い項目は黄色網掛け

※【入学前の期待】と【卒業時の評価】がいずれも10%未満の項目はグレー網掛け



- ◆ 【入学前の期待】と【卒業時の評価】がいずれも平均値以上の項目は番号順に次のとおりである（末尾の数値は「満足」－「期待」GAP）。

18. 「施設」生活施設（食堂やトイレなどの生活環境が充実している） 40.8

22. 「キャンパスライフ」クラブ・サークル（クラブ・サークル活動が充実している）  
39.9

- ◆ 【入学前の期待】が10%以上で【卒業時の評価】が【入学前の期待】より高い項目は番号順に次のとおりである。

1. 「ブランド性」校風（教育方針や校風に魅力がある） 17.6

2. 「ブランド性」歴史・伝統（歴史や伝統を感じることができる） 20.3

3. 「ブランド性」評判（友人・知人など周囲の評判が良い） 5.7

4. 「授業」身につく力（幅広く専門的な知識・教養が身につけられる授業が多い）

10.9

5. 「授業」身につく力（国際感覚が身につく授業が多い） 1.9

6. 「授業」身につく力（語学力が向上する授業・制度が充実している） 4.0

7. 「授業」身につく力（留学支援の制度が充実している） 17.9

12. 「授業」授業システム（カリキュラムの選択の幅が広い） 36.9

25. 「交友関係」人材の多様性（外国人留学生との交流が盛んである） 7.2

# 第4章：「入学前の期待」×「卒業時の評価」

## ■入学前の期待（全体／複数回答）と卒業時の評価（Q5回答者／各単一回答）

Q5. あなたは本学にどのようなことを期待していましたか。あてはまるものすべてをお選びください。（複数選択可）

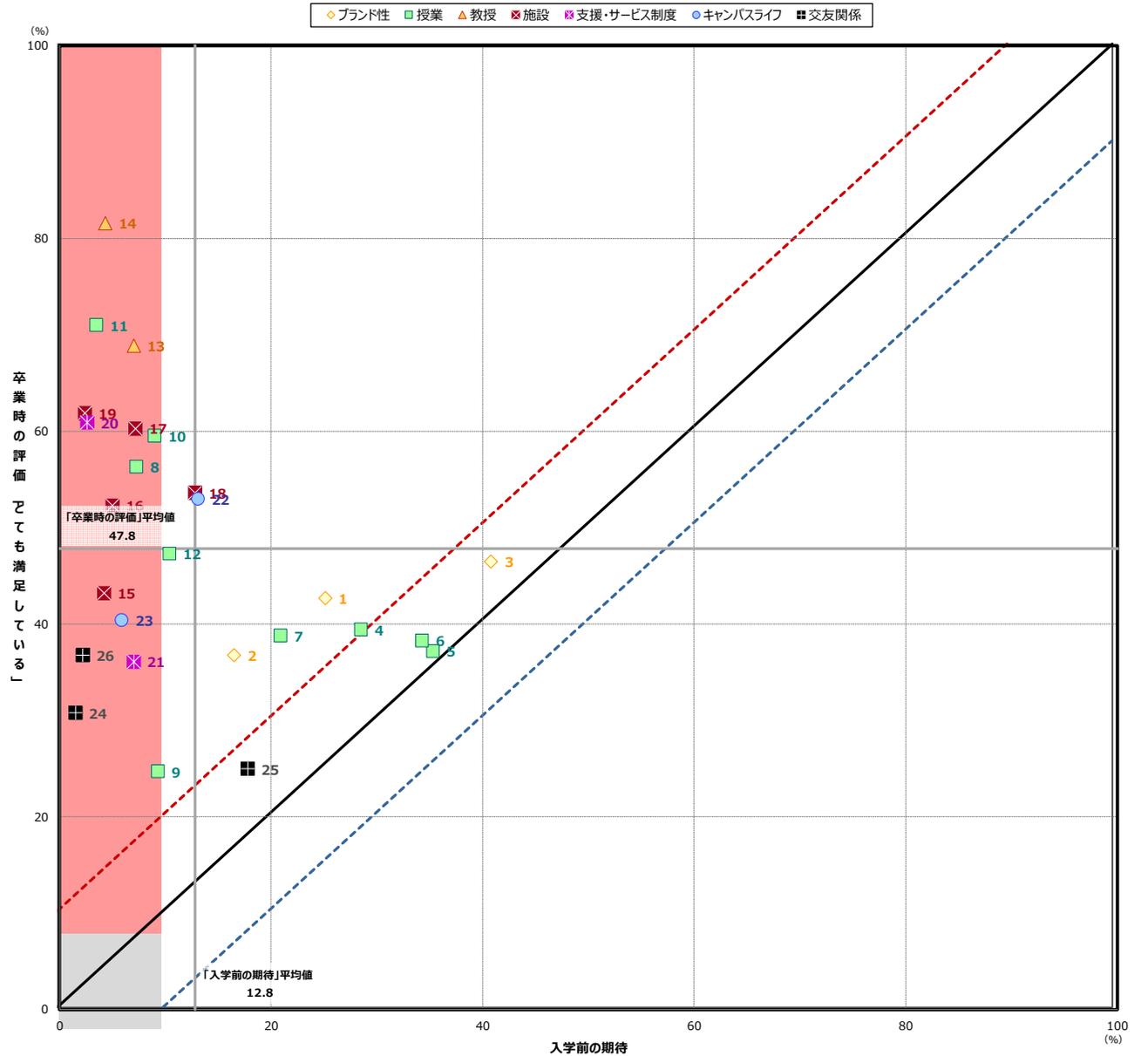
Q6. 本学での学生生活を振り返って、以下の点についての程度満足していますか。（5段階評価）（あなたがQ5で選択した項目が表示されています。）

		入学前の期待 (n=875)	卒業時の評価 [とても満足している]	GAP [満足] - [期待]	
ブランド性	校風	1 教育方針や校風に魅力がある	25.1	42.7	17.6
	歴史・伝統	2 歴史や伝統を感じることができる	16.5	36.8	20.3
	評判	3 友人・知人など周囲の評判が良い	40.8	46.5	5.7
授業	身につく力	4 幅広い専門的な知識・教養が身につけられる授業が多い	28.5	39.4	10.9
		5 国際感覚が身につく授業が多い	35.3	37.2	1.9
		6 語学力が向上する授業・制度が充実している	34.3	38.3	4.0
	授業形式	7 留学支援の制度が充実している	20.9	38.8	17.9
		8 自分で考えるカ・プレゼンテーション能力が身につく授業が多い	7.3	56.3	49.0
		9 職業に役立つ知識・技術を習得できる授業、目指す資格が取得できる講座が多い	9.3	24.7	15.4
授業システム	10 少人数・ゼミ形式の授業や実習が充実している	9.0	59.5	50.5	
	11 討論・参加形式の授業(講義、授業、ゼミ等全て含めて)で協力し合って物事を進める機会が多い	3.5	71.0	67.5	
教授		12 カリキュラム選択の幅が広い	10.4	47.3	36.9
		13 自分を成長させてくれる教授、先生に出会える	7.0	68.9	61.9
施設	教育施設	14 教授、先生が授業の取り組みに熱心で、生徒との距離が近い	4.3	81.6	77.3
		15 研究・実習の環境が充実している	4.2	43.2	39.0
		16 図書館が充実している	5.0	52.3	47.3
生活施設	17 P C・インターネット等の情報環境が充実している	7.2	60.3	53.1	
	18 食堂やトイレなどの生活環境が充実している	12.8	53.6	40.8	
	19 スポーツ施設が充実している	2.4	61.9	59.5	
支援・サービス制度	対応	20 親身になって相談にのってくれる教職員が多い	2.6	60.9	58.3
	キャリア	21 就職活動に対するサポート制度・キャリア教育が充実している	7.0	36.1	29.1
キャンパスライフ	クラブ・サークル	22 クラブ・サークル活動が充実している	13.1	53.0	39.9
	学園祭	23 学園祭などのイベントが充実している	5.9	40.4	34.5
交友関係	人材の多様性	24 卒業生との交流が盛んである	1.5	30.8	29.3
		25 外国人留学生との交流が盛んである	17.8	25.0	7.2
		26 他大学との交流が盛んである	2.2	36.8	34.6
平均値			12.8	47.8	

【平均データ基準】※[入学前の期待]が平均値未満で、[卒業時の評価]が平均値以上の項目は赤色太字

【絶対データ基準】※[入学前の期待]が10%未満で、[卒業時の評価]が10%以上の項目は薄赤色網掛け

※[入学前の期待]と[卒業時の評価]がいずれも10%未満の項目はグレー網掛け



- ◆【入学前の期待】が平均値未満で【卒業時の評価】が平均値以上の項目は番号順に次のとおりである（末尾の数値は「満足」－「期待」GAP、以下同じ）。

8. 「授業」身につく力（自分で考える力・プレゼンテーション能力が身につく授業が多い）  
49.0
10. 「授業」授業形式（少人数・ゼミ形式の授業や実習が充実している） 50.5
11. 「授業」授業形式（討論・参加形式の授業（講義、授業、ゼミ等全て含めて）で協力し合って物事を進める機会が多い） 67.5
13. 「教授」（自分を成長させてくれる教授、先生に出会える） 61.9
14. 「教授」（教授、先生が授業の取り組みに熱心で、生徒との距離が近い） 77.3
16. 「施設」教育施設（図書館が充実している） 47.3
17. 「施設」教育施設（P C・インターネット等の情報環境が充実している） 53.1
18. 「施設」生活施設（食堂やトイレなどの生活環境が充実している） 40.8
19. 「施設」生活施設（スポーツ施設が充実している） 59.5
20. 「支援・サービス制度」対応（親身になって相談にのってくれる教職員が多い）  
58.3

#### 第4章：「入学前の期待」×「卒業時の評価」

- ◆ 【入学前の期待】が10%未満で【卒業時の評価】が10%以上の項目は番号順に次のとおりである（前ページと重複する項目が多い）。
- 8. 「授業」身につく力（自分で考える力・プレゼンテーション能力が身につく授業が多い） 49.0
- 9. 「授業」身につく力（職業に役立つ知識・技術を習得できる授業、目指す資格が取得できる講座が多い） 15.4
- 10. 「授業」授業形式（少人数・ゼミ形式の授業や実習が充実している） 50.5
- 11. 「授業」授業形式（討論・参加形式の授業《講義、授業、ゼミ等全て含めて》で協力し合って物事を進める機会が多い） 67.5
- 13. 「教授」（自分を成長させてくれる教授、先生に出会える） 61.9
- 14. 「教授」（教授、先生が授業の取り組みに熱心で、生徒との距離が近い） 77.3
- 15. 「施設」教育施設（研究・実習の環境が充実している） 39.0
- 16. 「施設」教育施設（図書館が充実している） 47.3
- 17. 「施設」教育施設（P C・インターネット等の情報環境が充実している） 53.1
- 18. 「施設」生活施設（食堂やトイレなどの生活環境が充実している） 40.8
- 19. 「施設」生活施設（スポーツ施設が充実している） 59.5
- 20. 「支援・サービス制度」対応（親身になって相談にのってくれる教職員が多い） 58.3
- 21. 「支援・サービス制度」キャリア（就職活動に対するサポート制度・キャリア教育が充実している） 29.1
- 23. 「キャンパスライフ」学園祭（学園祭などのイベントが充実している） 34.5
- 24. 「交友関係」人材の多様性（卒業生との交流が盛んである） 29.3
- 26. 「交友関係」学外との交流（他大学との交流が盛んである） 34.6

# 第5章 まとめ

◆ 第1章：入学前の期待

「Q.あなたは、本学にどのようなことを期待していましたか。」

- 入学前に期待していることとして「ブランド性」評判（友人・知人など周囲の評判が良い）は、全てのカテゴリーで最も高い数値となっているが、45.6%→40.8%と昨年より低下している。校風（教育方針や校風に魅力がある）は、期待する数値がやや上がったが、歴史・伝統（歴史や伝統を感じることができる）も、「評判」と同様に22.4%→16.5%と昨年より低下している。
- 他の全てのカテゴリーを通じて、全体的に入学前の期待が高くない学年だったと言える。
- 「授業」については女性の期待が高い傾向にあるが、「授業」と関係する「教授」に対しては、女性でも入学前の期待は高くない。例年通りの傾向ではあるが、卒業時の評価（満足度）では数値が高くなる項目でもあるので、入学前の段階で可能な限り周知できると良いと思われる。
- 「授業」について、男性は「職業に役立つ知識・技術を習得できる授業、目指す資格が取得できる講座が多い」ことを期待している割合が女性よりも高い。この項目は、卒業時の評価で満足度が最も低い数値となっており、医療系等の職業資格系以外の学士課程における課題の1つと言える。

## 第5章：まとめ

### ◆ 第2章：在学中の成長

「Q.本学に入学し、どの程度成長したという実感がありますか。」

- 在学中の成長実感については、全体の加重平均が4.28（満点5.0）と3年連続の上昇である。過去6年間で振り返っても最も高い数値である。さらに「とても成長したと思う」と回答した比率も、高かった昨年の数値を上回り38.1%となっている。女性の数値は男性よりも高く、第1志望者の数値は第2志望以下の学生よりも高くなっている。
- 「成長したと思う」、「ある程度成長したと思う」の合計が100%を超える学科も複数ある（人文学部キリスト教学科、人文学部心理人間学科、外国語学部フランス学科、ドイツ学科）。

「Q.本学での学校生活でどのような力が身につきましたか。」

- 「学校生活で身につけた力」は、「基礎論理力」（物事を論理的にさまざまな視点から考え知識を統合し判断する力）44.5%、「統合力」（専門分野の知識・技術を理解・習得し活かせる力）41.4%、の数値が高い。文部科学省が昨年実施した「全国学生調査（第2回試行調査）」に類似の質問項目があるが、いずれも「身についた」とした回答は20%台のため、大学生全般と比較しても高いと言える。
- 「社会人12の基礎力」（丁寧な意見交流、意見の違いや立場の違いを理解する力）と「社会的リテラシー」（外国語を日常的に使える力やグローバルに活躍できる力）は男女差がある（女性の方が高い）。

◆ 第2章：在学中の成長

「Q.身についた力は主にどのようなところから身につきましたか。」

- 「授業・ゼミ・実習・研究」が身についた能力のほぼ全ての源泉として、最も高い数値となっている。これは昨年と同様の傾向である。特に2.「統合力」（専門分野の知識・技術を理解・習得し、活かせる力）については、「授業・ゼミ・実習・研究」を源泉とした回答が96.1%に上る。
- 第3章の卒業時の評価（満足度）で、教員の授業への取り組みや学生との距離の近さを高く評価していることもあり、学業を通じた教員による熱心な指導が、学生の成長を促していることが示されている。
- 昨年は、「クラブ・サークル活動」が、8.（地域に貢献する力）に最も影響していたが、今回は最も影響したのは「授業・ゼミ・実習・研究」である。コロナ禍による活動制限の影響があったものと考えられる。

「Q.成長できたと評価できるきっかけは何でしたか？」 1/2

- 「学業」（ゼミでのテーマにチャレンジしたこと、卒業論文・制作を仕上げたこと）55.0%、「学業」（授業を理解しようと努力したこと、素晴らしい授業に出会えたこと）45.4%、がきっかけとなって成長したという回答が昨年同様多い。ただ、「学業」と関係が深い「教授・先生」（教授、先生から直接指導を受けたこと、尊敬できる教員に出会えたこと）は、28.5%→25.4%と、きっかけとしては昨年よりやや低下した。

◆ 第2章：在学中の成長

「Q.成長できたと評価できるきっかけは何でしたか？」 2/2

- 「教授、先生」（教授、先生から直接指導を受けたこと、尊敬できる教員に出会えたこと）は、経済学部・経済学科、経営学部・経営学科で全体平均よりも低くなっており、昨年と同様の傾向が見られる。S T比（教員一人当たりの学生数比率）が関係している可能性が考えられる。
- 「教授、先生」（教授、先生から直接指導を受けたこと、尊敬できる教員に出会えたこと）は、志望順位が第1志望の学生と第2志望以下の学生の差が10ポイント以上開いており（第2志望以下の学生の方が低い）、昨年よりも差が広がった。なお、「学業以外のキャンパスライフ」（学内の先輩・友人との人間関係）も同じように志望順位によって10ポイント以上の差がある。
- 在学中の成長のきっかけを、成長を実感しているグループと成長を実感していないグループで分けて数値を比較すると「あまり成長していない」、「まったく成長していない」と回答したグループの半数は、成長できたと評価できるきっかけが「特になかった」と回答している。「どちらとも言えない」と回答したグループも「特になかった」と回答する比率が高く、これらの学生層に対しては、何らかの“きっかけ作り”が必要であることを示唆している。

◆ 第3章：卒業時の評価

- 卒業時の全体評価による満足度は、「とても満足している」、「ある程度満足している」の回答を「満足・計」として満足度を測っている。このうち「とても満足している」に注目すると、次のように教員に関する項目で満足度が高い。
  - 14. 「教授」（教授、先生が授業の取り組みに熱心で、生徒との距離が近い） 81.6%
  - 11. 「授業」 授業形式（討論・参加形式の授業《講義、授業、ゼミ等全て含めて》  
で協力し合って物事を進める機会が多い） 71.0%
  - 13. 「教授」（自分を成長させてくれる教授、先生に出会える） 68.9%
- 上記とは逆に「とても満足している」の比率が低い項目は次の通りである。
  - 9. 「授業「身につく力」（職業に役立つ知識・技術を習得できる授業、目指す資格が  
取得できる講座が多い） 24.7%
  - 25. 「交友関係」 人材の多様性（外国人留学生との交流が盛んである） 25.0%
  - 24. 「交友関係」 人材の多様性（卒業生との交流が盛んである） 30.8%
- 職業知識や卒業生との交流は、就職活動を意識しているものと考えられる。現在でも、様々なキャリア支援が行われており、数値にはコロナ禍の影響も含まれているとみられるが、卒業生との交流機会がこれまで以上に求められている可能性もある。

## 第5章：まとめ

### ● 第3章：卒業時の評価

「Q. 学生生活を振り返って、どの程度満足していますか？」

- 卒業時の全体評価による満足度を学部別に見ると、「ブランド性」の項目は、人文学部、外国語学部でより高く、法学部、経済学部、理工学部で低い傾向にある。
- 「ブランド性」評判（友人・知人など周囲の評判がよい）は、男女差が見られ、男性の満足度（30.3%）は女性の満足度（59.3%）の約半分である。
- 志望順位が第2志望以下で入学した学生でも、授業や教員に対しては次の3項目は、第1志望者より満足度が高い。

「授業」授業形式（少人数・ゼミ形式の授業や実習が充実している） 75.0%

「授業」授業形式（討論・参加形式の授業《講義、授業、ゼミ等全て含めて》で協力し 合って物事を進める機会が多い） 85.7%

「教授」（教授、先生が授業の取り組みに熱心で、生徒の距離が近い） 100%

- 「施設」生活施設（スポーツ施設が充実している）、（食堂やトイレなどの生活環境が充実している）に対する満足度は昨年よりも大きく上昇している。キャンパス環境の良さは、居心地の良さや自身の居場所にもつながり、学生の帰属意識を高めるという研究結果もあるため※、今後も引き続きの整備・向上が大切である。

※「中村 真・薊理津子,2017,大学適応に影響する要因としての入学動機に関する基礎的検討,江戸川大学紀要 第27号,301-308」

◆ 第3章：卒業時の評価

「Q. 学生生活を振り返って、どの程度満足していますか？(総合満足度)」

- 総合満足度は、全体の数値が81.0%→83.3%と昨年より向上しているが、学部別に見ると、法学部、経済学部、理工学部が相対的に低い傾向にある。
- 総合満足度には、男女差が見られ、男性（79.8%）よりも女性（85.8%）が高い。また、志望順位でも差が見られ、第1志望者が85.5%と第2志望以下で入学した学生の78.2%を上回る。性別と志望順位別の総合満足度の差は、昨年も見られたが、その差は昨年より開いた。ただ、差が開いたのは、女性、第1志望者、それぞれの満足度が昨年よりも伸びたためであり、男性、第2志望以下で入学した学生の満足度が低下したためではない（男性、第2志望以下で入学した学生の満足度は昨年並）。

「Q. 学生生活を振り返って、どの程度満足していますか？(進路選択)」

- 「卒業後の進路を検討・決定するプロセスや結果について」による満足度も、総合満足度と同様の傾向にある。全体の満足度は向上し、性別と志望順位別による差も総合満足度と同様の傾向である。

◆ 第3章：卒業時の評価

「Q.後輩が進学先を検討の際、本学を薦めますか？(推奨意向度)」

- 後輩への推奨意向度について、全体の推奨意向度は上昇傾向にある。
- 「あまり薦めないと思う」、「薦めない」を合わせて「薦めない・計」を算出しているが、この数値が昨年から急激に減少している。回答者総数が減少していることから、推奨意向度が低い学生が回答していない可能性もある。
- 「強く薦めると思う」、「薦めると思う」を合わせた「薦める・計」は、2019年以降、一貫して上昇している。
- 「強く薦めると思う」と回答した割合が高い学科は、人文学部キリスト教学科50.0%、外国語学部英米学科39.1%、外国語学部アジア学科37.5%、総合政策学部総合政策学科36.8%である。逆に「強く薦めると思う」と回答した割合が低い学科は、理工学部ソフトウェア工学科6.8%、理工学部機械電子制御工学科9.3%、法学部法律学科16.2%、外国語学部フランス学科17.4%である。
- 総合満足度と同様、性別と志望順位別で推奨意向度の差が開いたが、女性と第1志望者、それぞれの推奨意向度が昨年よりも伸びたためであり、男性と第2志望以下で入学した学生の推奨意向度は低下しておらず、昨年並の推奨意向度である。

◆ 第4章：「入学前の期待」×「卒業時の評価」

- 入学前の期待は平均値が12.8と低いこともあり、全ての項目で卒業時の評価との差が、プラスの数値となっている。GAPの値が特に大きい項目は順に次の通りである。いずれも入学後でなければ実感しづらい項目のため、GAPの値は大きいが良い意味でのGAPと考えられる。

- 14. 「教授」 (教授、先生が授業の取り組みに熱心で、生徒との距離が近い) 77.3
- 11. 「授業」 授業形式 (討論・参加形式の授業《講義、授業、ゼミ等全て含めて》で協力し合って物事を進める機会が多い) 67.5
- 13. 「教授」 (自分を成長させてくれる教授、先生に出会える) 61.9
- 19. 「施設」 生活施設 (スポーツ施設が充実している) 59.5
- 20. 「支援・サービス制度」 対応 (親身になって相談にのってくれる教職員が多い) 58.3

- GAPの値が小さい項目は順に次の通りである。昨年はマイナス値だった項目 (5と6) もあったため、入学前の期待には応えたものと考えられる。

- 5. 「授業」 身につく力 (国際感覚が身につく授業が多い) 1.9
- 6. 「授業」 身につく力 (語学力が向上する授業・制度が充実している) 4.0
- 3. 「ブランド性」 評判 (友人・知人など周囲の評判がよい) 5.7
- 25. 「交友関係」 人材の多様性 (外国人留学生との交流が盛んである) 7.2